

# 藤の里だより

第二号 平成16年 10月 1日 発行



秋になりました

グループホーム「藤の里」  
代表 石原 恵子

記録的な暑い夏に喘ぎながらも、秋の彼岸も過ぎ、朝夕涼しさにほっとする毎日です。予定期に第二号の発行ができました。今年、家族会の発足にもなりました。体旅行と公演のお誘いも、反等々をメインにしています。敬老の日も記念公演の予定もあがります。全員で楽しんでください。藤の里も空のしめしめです。『家族会』の役員は家族の皆様にはご通知し、副会長の旅行感想とお知らせを、参加されたご家族からも複数名の旅行感想を伺っています。帰りが遅く、本心に嬉しくても、御家族の無事に帰って来ることが出来、本心に嬉しくても、職員達の誇りに思いました。協力に及ばず、頑張ってください。皆様感謝の気持ちです。我儘に付き合ってください。大変な思いをする、まだ開所して一年足らずです。入院が二件あります。八名の誰か、早く帰って来られて喜んでおります。十人も毎日居なくて、歯が抜けたように淋しくて、他のずっとおさまりで、いつまでも仲良く楽しく、やっていきましよう。次号までに、人権フェスタ（行田の会館みらいにて）に参加します。開所一周年記念の日もきます。紅葉狩り・餅つき等の行事が目白押しです。一番早いのは、運動会ですね。元気でやる気で頑張ります。私達も皆さんに守っていただきながら、自分の仕事を遂行

平成十六年八月一日  
会長 梓澤旭

ご益し解護す落にに た移 盛こまに きまのり たす  
挨拶々にのこ。ちお表介。し幸りれで日現受す里タ私、この  
拶のいよ皆れに任す護、いたかにな本在けこイは梓「この  
と、きり様か なせに福 祉国て益つ口高るか家しこの度、妻  
さごた、とら りすは祉 介のい々々の齡こら族まの春ざのさの母が、  
せ協い「家も、る僭に 護制く、お二者と、のし四いさと家が、  
て力と藤族お 本こ越つ 介度事介り十人浅学様のと三年。族、  
いを考の会世 来とでき に対とが護ま五口致非のと間勤務の  
たりて「員に 介はがして すし大事す%へ六ま才中と、務の  
きすおののなり 護、て るて事業。へ四十しもで、勤務の  
まより運皆り に親介、 認のとを積 識も護え極 高保すか つ、真  
すうま營様ま ならのの経 高保すか つ、真 識も護え極 高保すか つ、真  
。おすにのす ならのの経 高保すか つ、真 識も護え極 高保すか つ、真  
願の側あ「藤 いで面たの 考姿皆が て順、 真 識も護え極 高保すか つ、真  
申、よたの 考姿皆が て順、 真 識も護え極 高保すか つ、真  
し皆りか 考姿皆が て順、 真 識も護え極 高保すか つ、真  
上々、い「 えが様、 き調に 推 識も護え極 高保すか つ、真  
げ様協ごの ま片だ言 識も護え極 高保すか つ、真  
、の賛理介 手け葉 識も護え極 高保すか つ、真

『ふじのさと家族会』会長のご挨拶

### “福祉について”をお話した時の抜粋原稿

近年、福祉の問題として高齢化がすすみ、三人に一人の高齢率になることや、介護保険料の財源の破綻が目に見えてきている等、暗い重たい様相を呈しているが、今の高齢の方たちの働きで、私たちの住んでる社会が築かれた事を思った時に、老後は個人でみる時代ではなく、社会でみる時代に移ってきていると言える。高齢の方たちは、家族の為に働き、老後は子供にみてもらうのが通例だったが、団塊の世代の親たちは自分の老後は自分で、と、子供の世話にならないように、と、変わってきている。措置の時代の福祉から、契約・本人が選ぶ福祉のサービス利用と移ってきたわけだが、本人たちの取り入れ方と、サービスを提供する側との足並みが揃っていない現状が見られている。

福祉の始まりは、19世紀後半にロンドンで地域援助技術として発祥したものが、米国に慈善組織協会の活動として導入され、その後、各国に広まり色々様変わりしてきているものの、福祉は行政が経済的にも恵まれない人の面倒をみるという英国の救貧法からきており、別々の慈善団体が同じ人を何度も救済したり救済から全くはずれた例もでるとい、お仕着せのものという認識のうえにたっていた。近年、権利意識が強くなってきており、介護保険の出現で更に、拍車がかかってきている。

「福祉」にあたる英語の単語は、Welfare で、これはWellとFareからなる合成語で、「十分に満たされている」「心身が健康である」「満足である」などの意味になり、「福祉」という言葉は、「幸せが満ち溢れている状態」「快適で満たされた生活」をさし、「福祉社会」とは、「誰もが幸せで快適な生活を送れる社会」ということになる。これが世界中の人々の願いといえるが、現実には世界のあちこちで戦争や紛争が起こっており、平和な生活が破壊され、孤児や母子家庭・障害者を生み出している。戦争や紛争は「福祉社会」の対極にあると、言える。さらに、満たされた生活をする為に必要な基本的要因として、①経済的安定 ②職業の機会 ③心身の健康 ④安定した家族関係 ⑤社会的協同 ⑥文化・娯楽に触れ合う機会等が、あげられるが、本人のせいではない部分での制約をうけることで社会的自立が保てないこともある。生活状態が一人一人違うので、自立援助も個別化された内容と量が、求められてきている。

### ノーマライゼーションについて

ノーマライゼーションの思想は20世紀半ばにデンマークに生まれ、北欧からアメリカへと広がり、日本でも取り入れられるようになった。高齢者や障害者などの社会的に不利な立場にいる人が、健常者とともに当たり前暮らしを地域や社会を作り上げようとするもので、環境整備にはバリアフリーやユニバーサルデザインが進められている。

\*バリアフリー …………… 道路や建物の障壁をなくすこと

\*ユニバーサルデザイン ……… 最初から誰もが使いやすい設計をおこなうこと

ノーマライゼーションの前は、同じような障害を持つ人々をコロニーに集め、その中だけで生活させていた。対応は当然、画一的・集団的な扱いになっていた。

### Q・O・L(クオリティ・オブ・ライフ)のこと

ノーマライゼーションの考え方が社会に広がり、すべての人が社会活動に参加できるようになれば、国民一人一人の生活の質が向上し、ひいては社会全体が豊かになると言える。「生活の質」のことを、Q・O・Lといい「人生の質」「生命の質」とも訳され、1980年代にはいりケア活動の中に取り入れられるようになってきた。

生活の中にさりげなく溶け込み、地域に根付いていくものであるような福祉の普及を望みたい。

平成16年 9月22日 騎西中学校に於いて

# 七 夕 ★いろいろな願いを込めて…★



## 敬老の日記念講演・音楽祭 ♪耳をすませば懐メロ♪



青い山脈



何の話？



月の砂漠



あれ！眠ってる？



人生の並木道



縁かいな



# 🌀小旅行（秩父温泉）🌀



A車中の風景



B車中の風景



ブドウ園でおやつ



梁山泊で夕食



家族会会長から一言



ビンゴ大会



梁山泊前での記念写真





# コスモス祭



9月23日コスモス見学  
(吹上コスモス畑)



一緒に歩いていきましょう



今年は、国体開催に合わせてコスモス祭ということなので、あまり咲いていなくて残念でした。きれいに咲いているのは、去年のコスモス写真です。

## 旅行のアンケート

- ※家族毎に個室だったので、隔離されていて対応が困った  
もっと集合している時間が多いほうがいい
- ※部屋にベットがほしかった
- ※車にリクライニングが欲しかった
- ※家族が行く人と、そうでない人を一緒にしないほうがいい  
のではないかな
- ※思いがけなく、ずーっと一緒の時間がすごせてよかった
- ※費用が安くてよかった
- ※来年も全員一緒のほうがよいのか？  
半分ずつくらいにした方がよいのか？
- ※二次会部屋を用意して、コミュニケーションをとれるように  
してもらいたかった
- ※集会時間(家族全部の話し合いができる時間、入居者は  
別の場所でみてもらうようにする)の設定が欲しかった
- ※ぶどう狩りの企画の仕方が良かった(入園料100円)
- ※職員の対応がよかった(皆さんお疲れ様でした)

藤山 圭子

家族会副会長から旅行の感想

猛暑が続いた今年の夏もようやく終  
わり、涼やかな秋風が感じられるよう  
になりました。秋風が感じられるよう  
に新たな試みとしての秩父一泊旅行！  
天候にも恵まれ、あたたかい雰囲気  
の新しい旅行となりました。不安な前  
楽正の夜でした。楽しみであり不安な前  
日の職員の方々の御家族の感  
方々とのふれあいが、とても新鮮に感  
じました。お話をすること、元気が  
復活しろ。お話をすること、元気が  
皆これからのいろいろな企画を通して  
思つてい交流の場がふえればよいなと

来年の参考にさせていただきます。有難う御座いました。

# ホームで働く男性陣



新 さん

皆様、日々お元気で過ごされていますか。  
私どもも、利用者の方々と楽しく過ごすことを大切に  
一人一人の自立能力を保ってさしあげる心身のケアに  
力を注いでおります。



神田 さん

夜勤勤務が多いので、入居者のその日の体調を敏感に  
みて、対話をしながら夜間の仕事をしています。  
発熱、異変の対応は何度も遭遇しており、手馴れています。  
介助内容も皆さんに好評のようです。(エヘヘ！)



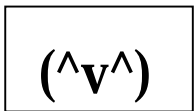
河野 さん

私は、介護の仕事を志して1年になりました。  
介護の大変さ、奥の深さがわかってきました。  
戸惑いながらも楽しいので、入居の方々の見守り介助を頑  
張って、続けたいと思っています。



蓮見 さん

皆様のご指導で、苦手な料理も少しずつできるようになり  
ました。お風呂の介助も頑張っています。  
これからも頑張りますので、宜しくお願いします。



岩中 さん

広報委員でこの中の記事全般にかかわっていますので、  
コメントはかきませんでした。写真もあえて載せていません。

## 『編集後記』

今回は、小旅行(秩父温泉)、コスモス祭(吹上河川敷)と色々な行事がありました。  
八月には、家族会も発足しましたし、御家族の方々と行事が、入居者にとって一番の楽しみと  
言っても過言ではありません。今回、貴重な時間をさいて頂いた方には、誠に有難うございました  
今後も、色々な行事がありますので、参加できなかった方も、次回は参加して頂きたいと思ってい  
ます。写真が上手く撮れなかった点もごさいますが楽しんでお読みください。

広 報: 岩 中

## 「御家族の皆様にお願い」

※冬物衣類、履物、タオルケット、毛布、シーツ等、不足している方も  
多いので、お持ちください。

※お忙しいでしょうが、出来る限り(月に一度位)お顔を見にいらしてください。

※駐車場も完備いたしましたので、是非、御利用ください。

編集発行人

TEL 0480-73-2943

北埼玉郡騎西町鴻基2168-2

担当: 石原

有限会社 フクシ

グループホーム藤の里 ホームページ <http://www.2943.jp>